

二中HPブログ（R7修学旅行）



【修学旅行】080201

2月は逃げる。今年度も残り2ヶ月。月の始めは3日間の沖縄修学旅行からです。貸し切りバスが水俣を出発しました。鹿児島空港に8時到着、9時15分に離陸予定です。

【鹿児島空港着】080201

鹿児島空港に到着して、搭乗手続きを済ませました。この後、写真の飛行機に乘ります。T学年主任は苦手とする飛行機移動を前に緊張しています。



【飛びます】080201

もうしばらくしたら離陸します。着陸まではスマホもライトモードです。

追記：飛行機からの画像です。着陸後にアップしました。揺れることもなく、安心安全な空の旅でした。



【那覇空港着】080201

那覇空港に到着しました。漁場を表す「魚場（なは）」が「那覇（なは）」の語源だそうです。気温は熊本の5月・10月頃と同じ。薄雲りですが暖かいですね。

【昼ごはん】080201

糸満市でお昼ご飯。メニューは沖縄そば、スマッシュの入った炒飯、餃子、

せんざいです。子どもたちも満足です。追記：食後の後片付けもきちんとできました。



【ひめゆりの塔】080201

第二次世界大戦末期に第三外科壕に学徒隊として従軍していた「ひめゆり学徒隊」にちなみ「ひめゆりの塔」と名付けられています。生徒は二中の「鬪魂碑」のような背の高いものを想像していたようですが、約90cmの塔です。

「ひめゆり」は学徒隊員の母校、沖縄県立第一高等女学校の校誌名「乙姫」と沖縄師範学校女子部の校誌名「白百合」とを組み合わせた言葉だそうです。

右の写真は「伊原第三外科壕」です。ここは、アメリカ軍の攻撃を受け、壕にいた96名（うち教師5名・生徒46名）のうち、87名が亡くなるという、ひめゆり学徒隊の中で最も多くの犠牲者がいた壕です。



【平和祈念資料館】080201

沖縄戦の体験と平和の尊さを伝えるため、ひめゆり同窓会によって設立された平和祈念資料館です。証言映像や当時の写真、壕の実物大模型などが展示されています。じっくり見学しました。見学態度も真面目で、添乗員さんやガイドさんからも褒められています。



【平和の礎（いしじ）】080201

沖縄戦などで亡くなられた全ての戦没者を追悼し、恒久平和の希求と悲惨な戦争の教訓を正しく継承するとともに、平和学習の拠点とするために建設されたのが「平和の礎」です。建物などの基礎の「いしずえ」を沖縄の方言では「いしじ」と発音するそうで、平和創造の「いしずえ」となることを期待して建設されました。国籍や軍人、民間人の別なく、全ての戦没者の氏名を刻んでいます。



【旧海軍司令部壕】080201

カマボコ型に掘り抜いた横穴をコンクリートと杭木で固め、米軍の艦砲射撃に耐え、持久戦を続けるための地下陣地で、4000人の兵が収容されていました。当時は450mあったと言われています。



【1日目ホテル着】080201

「ロイヤルビューホテル」美ら海に到着しました。美ら海水族館まで歩いて5分、1階は各部屋にテラスがあり喜んでいます。



【晩ごはん】080201

沖縄最初の晩ごはんです。おいしくて栄養のあるものばかりです。食事はバランスが大事です。(参考までに生徒会長のメニューです。)



【班長会議】080201

班長会議で今日の反省と明日の確認をしました。お風呂に入って、しおりを整理したらお休みなさい。

【朝ご飯】080202

朝ごはんの時間です。副会長2人のメニューです。

体調不良者無し、今日は美ら海水族館でシンベエザメが待っています。生徒の目も、生き物好きの〇先生の目も期待でキラッキランランに輝いています。ホテルの皆様には大変お世話になりました。では、行ってきます。



【沖縄海洋博記念公園】080202

沖縄返還、沖縄県の日本本土復帰記念事業として、昭和50年7月20日から約6か月、183日間に亘って沖縄国際海洋博覧会が開かれました。その跡地に造られたのがこの公園です。私が持っている100円記念硬貨を調べてみると、現在の取引価格は330円でした。物価上昇率を考えるとトントンです。



【美ら海水族館】080202

「沖縄の海との出会い」をコンセプトに、イノー（沖縄の方言でサンゴ礁の縁の浅瀬）、珊瑚礁、黒潮の海、深海と様々な海の生物を紹介しています。水量 7,500 m³の世界最大級の大水槽「黒潮の海」の他、総展示槽数は77槽です。



世界で初めて長期飼育に成功したジンベエザメやナンヨウマンタが人気の展示です。



【海】080202

沖縄の海とイルカショーを楽しみました。



【暁ごはん】 080202

御菓子御殿で暁ごはん、タコライスです。ホットソースで仕上げます。ソース2本掛けのチャレンジャーもいました。



【道の駅かでな】 080202

米軍基地に隣接する「道の駅かでな」の屋上から嘉手納基地を一望した後、学習展示室で、嘉手納町の歴史や基地との関わりについて学びました。見学中に哨戒機がタッチ&ゴーで飛び立っていました。



【首里城公園】 080202

首里城公園は興南アクト部の皆さんに案内していただきました。（琉球朝日放送のテレビ取材もありました。）復元された首里城とその周辺の守礼門、円鑑池、龍潭、円覚寺などを含む、古都首里の自然や風土が満喫できる空間が首里城公園です。

令和元年10月31日の未明に発生した火災により焼失した首里城正殿は、今年の秋ごろに再建完了予定です。





【2日目ホテル着】080202

「スマイルホテル那覇シティリゾート」に到着しました。

【晚ごはん】080202
晩ごはんです。今夜はしっかり休み、ゼロに近くなったHP（ヒットポイント）を回復して最終日に臨みます。



【班長会議】080202
班長会議で今日の反省と明日の確認をしました。
10mの謎の答えは？修学旅行を裏で支える人たちに思いを馳せて、最終日も楽しみ、学びましょう。



【朝食】080202

先生方が起こして回るまで、ぐっすり過ぎるくらい眠って体調不良者無し。朝カレー、朝夕タコライスでエネルギーをチャージして1日元気に過ごします。



※昨夜は、変な妖気を感じたと言い出し、絵付けをしたシーサーを魔除けに3体並べて寝たグループがあったとか。

※カードキーと間違えて、電源カードを持って部屋を出てしまい、中に入れなくなったグループがあったとか。



【ホテル発】080202

修学旅行最終日です。対馬丸記念館、国際通りを経て沖縄での予定は終了です。最後の1日を学び、楽しみます。ホテルの皆様には大変お世話になりました。



【対馬丸記念館】080203

ホテルから徒歩移動をして、対馬丸記念館で語り部講話と資料見学を行いました。800人余りの学童を含む約1800人を乗せた学童疊開船対馬丸は、昭和19年8月22日の夜に鹿児島県悪石島付近で米潜水艦ボーフィン号の魚雷攻撃を受け撃沈されました。学童780人を含む1484人が亡くなったこの悲劇を後世に伝えようとつくられたのが対馬丸記念館です。



【国際通り】 080203

那覇国際通り商店街のHPによると「国際通り」は沖縄県の県庁所在地であり、県・市などの行政機関、民間企業が立地する業務集積地に隣接。通りには約 600 の店やその他の事業所が軒を連ね、デパート、レストラン、サービス、雑貨店などや、ホテル、お土産屋などの観光客を対象としたたくさんの店でぎわっている。「人に優しい街・歩いて楽しい街」をコンセプトに掲げ、様々なイベントも行っている。とのことです。

今から2時間の班別自主行動です。生徒会長から「校長先生、20mありがとうございました。」と言われました。

熊本はどこに行ってもくまモン、沖縄はどこに行つてもシーサーですね。

追記：集合時刻直前！青い紙袋を持ってダッシュ！



【那覇空港発】 080203

かなり疲れています。名残惜しいですが、いよいよ沖縄とお別れです。離陸予定時刻は15時25分です。



【熊本空港着】 080203

10分ほど遅れて無事に熊本空港に到着しました。荷物を受け取ったら貸し切りバスで水俣に向かいます。たくさんのくまモンに出迎えられて、帰ってきたなと言う感じです。

追記：10°Cの気温差、冷えます。17時32分に空港を出ました。宮原SAで休憩して帰校します。



【旅の終わり】 080203

定番の一言「家に帰り着くまでが修学旅行」です。明日は代休です。今夜はゆっくりお休みください。

「水、塩、酒、フーッ！」で、シーサーに守り神としての魂が入るそうです。塗料が溶けないかは自己責任でお願いします。

【二中シーサー展】080210

二中シーサー展絶賛開催中

期間：2月6日（金）～2月13日（金） 場所：職員室前

こちらは生徒と引率者による「こどもとおとの美術展」。どれも30分間で仕上げたとは思えない力作ぞろいです。口を開けているのがオス、口を閉じているのがメスです。

バスガイドさんによると、

- ①清めるために塩を振りかける。
- ②水をかけて洗い流す。（①と②を一緒にして、海水で清めても良い。）
- ③シーサーの口に酒を注ぐ。（メスは口を閉じているので湿らせればよい。）
- ④大きく息を吸い込み、勢いよく吹きかける。
- ⑤大きく柏手を打つ。

この儀式でシーサーが覚醒し、守り神としての真の力を發揮するそうです。ホテルの部屋で妖（あやかし）よけに並べていたグループの皆さん、残念ながらあの時点では効果がなかったようです。

